

令和 6 年度 県立つくば特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆安全・安心できれいな学校 ◆学ぶことが楽しい！一人一人の笑顔が輝く学校 ◆地域とともに歩む学校		
昨年度の成果と課題	重 点 項 目	重 点 目 標	達成状況
・昨年度は県教委研修センターの校内支援(道徳・国語)等を実施し、一人一人の障害の状況に応じた指導支援の充実を図ることができた。 ・授業改善のために資質・能力の三つの柱をふまえながら指導をすすめ、統合型校務支援システムの有効活用について検討している。 ・自立活動の指導については、校内外の専門家による研修等を実施し、教員の専門性の向上を高める取組の一層の充実が課題である。また、ICT 活用に関する研修を実施し指導力等活用意識の向上を図ることが大切である。	1 資質・能力を伸ばす指導・支援の充実	① 主体的・対話的で深い学びへの授業改善 ② 生きる力を育む自立活動の充実 ③ ICT を活用した教育の推進	
・昨年度はヒヤリハット事例を蓄積し、情報の整理や共有を実施することができた。今年度も情報共有を進め、職員の安全面への意識を持続させたい。 ・防災については、地震等発生時の全校児童生徒引き渡しや感染対策を含めた災害時の避難を想定した確認事項等の検討を続けていく。 ・いじめや体罰については、児童生徒・保護者へのアンケートを実施し、トラブルに関する軽微な事案も校内で共有・検討することで、未然防止を図ることができた。日頃から児童生徒間のトラブルやいじめ、体罰を見逃さないようにしていく。 ・安全安心な教育環境・職場環境づくりのため、改善できるものはすぐに対応していく。 ・また、コンプライアンス研修では職員の意識の向上を図る。働き方改革では、年間在校等時間 360 時間以上 0 人を継続することが目標である。	2 安全で安心な教育環境の整備	① 学校事故の未然防止とより安全な校内指導体制の検討 ② いじめや体罰を見逃さない学校環境の構築 ③ 教育環境・職場環境の改善(働き方改革の推進)	
・現場実習等、地域資源を積極的に活用した学習活動を計画することができた。今後も進路に関する取り組みの情報発信をしながら、保護者及び職員の意識の向上を図りたい。 ・美術作品の出品展示は、年間の参加計画を立て、児童生徒に活躍の場を提供することができた。今後も継続したい。	3 自立と社会参加をめざす教育の充実	① 児童生徒一人一人の将来を見据えたキャリア教育の推進 ② 関係機関と連携した進路指導の充実 ③ スポーツ・文化活動とおとした教育活動の推進	

・児童生徒の学習や諸行事の様子を、ホームページで随時発信していく。さらに閲覧者のニーズに応えた情報発信をしていくのが課題である。 ・コロナ禍を経てPTA活動は、話し合いをオンラインにするなどの工夫がなされた。活動への負担軽減を図ると共に、これからの時代に応じた参加の仕方を工夫、検討していくことが課題である。 ・通学区域学校等の巡回相談の依頼には、つくば市特別支援教育推進室や関係機関と情報共有や連携を図りながら対応することができた。さらに各種交流やセンター的機能における地域連携体制構築を進めていく。		4 家庭・地域との確かな連携	①特別支援教育の理解・推進を促す情報の公開と発信 ②主体的な PTA 活動の推進 ③地域連携体制の構築		
評価項目	具体的目標	具 体 的 方 策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	・安全で安心な教育環境の整備	・管理職、教務主任・部主事の校内巡視等の実施	2-①②③		
教職員の 育成及び 指導・監督	・主体的・対話的で深い学びへの授業改善研修の実施	・指導力の向上を目指す研修への参加 (研修センター校内支援、ICT 研修、他校参観等)	1-①②③ 3-①②③		
対外活動	・地域連携体制の充実	・地域連携体制(つくば市)構築のための会議時の参加時の助言	3-①②③ 4-①②③		
コンプライ アンス確保	・不祥事 0	・非違行為 0 ・コンプライアンス研修の実施(年 10 回)	2-①②③		
働き方 改革	・年間時間外在校等時間 360 時間以上 0 人の継続	・時間外年間在校等時間 360 時間以上の職員 0 人	2-①②③		
ICT 活用	・ICT 活用(情報セキュリティ)に関する研修の実施による職員の活用意識の向上。	・校務分掌部による研修の実施(年 6 回以上)	1-①②③ 3-①②③		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない